

11 館山市文化財保存活用地域計画【千葉県】

【計画期間】令和8～17年度（10年間）

【面積】110.05km²

【人口】約4.3万人

■推進体制

行政	博物館、企画課、観光みなと課、都市計画課、県文化財課
専門機関	館山市文化財審議会
関係団体	館山市文化財保護協会、NPO法人安房文化遺産フォーラム 等
市民	個人、町内会等、所有者
教育機関	館山市立小・中学校、市内高等学校

■歴史文化の特性

館山の海を通じたヒト・モノ・文化の交流史

本市の各時代および各地区の歴史文化について、「海」と「交流」をキーワードとすると、神津島から運ばれた黒曜石、海食洞穴、平城京への干しアワビ上納木簡、鎌倉の仏教文化・やぐら、里見氏と北条氏の抗争、江戸への鮮魚供給、幕末の海防拠点、東京湾要塞、近代の健康地・保養地・観光地、海水浴、汽船就航、震災と津波など、海を通じてヒトやモノが行き来していた館山の地域特性が見えてくる。

■指定等文化財件数一覧

類型	指定・選定	国		県		市		記録選択		登録		合計
		国	県	市	国	県	市	国	県	市	県	
有形文化財	建造物	0	7	4	—	—	—	15	1	—	—	27
	美術工芸品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	絵画	0	1	2	—	—	—	0	0	—	—	3
	彫刻	1	4	9	—	—	—	0	0	—	—	14
	工芸品	2	2	4	—	—	—	0	0	—	—	8
	書跡・典籍	0	1	7	—	—	—	0	0	—	—	8
	古文書	0	0	1	—	—	—	0	0	—	—	1
無形文化財	考古資料	0	0	7	—	—	—	0	0	—	—	7
	歴史資料	0	0	1	—	—	—	0	0	—	—	1
	無形文化財	0	1	0	—	—	—	0	0	—	—	2
	民俗文化財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	有形の民俗文化財	1	2	4	—	—	—	0	0	—	—	7
	無形の民俗文化財	1	2	10	1	(1)	—	1	0	—	—	15
	遺跡	1	3	9	—	—	—	0	0	—	—	13
記念物	名勝地	0	0	0	—	—	—	0	0	—	—	0
	動物・植物・地質鉱物	0	4	10	—	—	—	0	0	—	—	14
	文化的景観	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
伝統的建造物群	伝統的建造物群	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	合計	6	27	68	2	(1)	—	1	15	1	—	120

※県指定の無形民俗文化財「洲崎のミノコドリ」は、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」（いわゆる国の記録選択）にも選択されているため、表中では（ ）としています。

指定等文化財は、120件
未指定文化財・歴史文化遺産は、5,253件把握

（1）原始・古代館山における神々への祈りと祭り

洞窟遺跡や祭祀遺跡、安房神社と忌部氏の開拓神話など古代からの神々への信仰に加え、現代に受け継がれたミノコドリやかっこ舞など、神にささげる祭りも盛んにおこなわれている。

（2）館山での仏教文化の広がり

国分寺や那古寺などの古代寺院、小網寺などに残る仏像彫刻、やぐらなどにみられる鎌倉仏教の影響、観音信仰などの巡礼に関する文化財が伝わる。

（3）里見氏 10代 170年の軌跡

房総半島を170年にわたり支配した里見氏に関わる寺社や城跡、伝承などが市内各地に残されている。里見氏が整備した城下町が現在の館山市の礎となっている。

（4）館山と江戸・東京との交流

海上交通の拠点として、江戸・東京との人・モノの行き来があり、江戸の人々からの奉納物が市内の寺社に残されている。近代以降は汽船や鉄道によりさらに交流が盛んになった。

（5）館山の海的生活文化と信仰

海を生活の場とした人々の漁撈用具をはじめとした海の生活に関わる民俗文化財、万祝や絵馬、船霊などの海に関する信仰や文化がのこされている。

（6）館山の災害からの復興

地震による土地の隆起や元禄地震による津波被害、関東大震災とその後の復興によるまちづくりは現在の館山市の町並み形成につながっている。

（7）軍事都市館山 首都防衛と戦争遺跡

幕末の東京湾警備や旧陸軍の東京湾要塞、旧海軍の航空隊など、館山市は軍事都市としての性格を強くもった。市内には多くの戦争遺跡がのこされている。

（8）別荘地・保養地・観光地としての館山

明治10年代以降、汽船の就航により保養地・療養地として栄え、多くの海水浴客が訪れた。また、政治家や文化人の別荘地としても注目され、東京との人脈形成が図られた。

将来像 歴史文化をまちづくりに活かす街 館山

～ふるさと館山フィールドミュージアムの実現～

基本方針	課 題	方 針	取組の例
① 館山の文化財・歴史文化遺産を学び、知る	○特に記念物の名勝地、動物・植物・地質鉱物など自然分野の所在情報が不足している。 ○指定等文化財とした後の状態について現況確認が必要である。 等	○把握調査が未実施となっている、記念物の名勝地、動物・植物・地質鉱物について、把握調査を実施する。 ○指定等文化財の現況調査を行う。 等	1 計画的な把握調査の実施 把握調査が未実施となっている記念物の名勝地、動物・植物・地質鉱物で長期的な把握調査計画を立て、所在・分布情報の整理を行う。 ■行政、専門機関 ■R8～17
② 館山の文化財・歴史文化遺産を守り、伝える	○民俗芸能の後継者や担い手不足から、活動の継承が困難となっており、後継者育成と活動の継承支援が必要である。 ○災害が発生し、文化財・歴史文化遺産が被災した場合の救援体制が構築されていない。 等	○将来の後継者や担い手となる子どもが、民俗芸能に触れ、重要性を理解する機会を設ける。 ○文化財・歴史文化遺産を災害や犯罪から守るための体制強化を図る。 等	17 文化財・歴史文化遺産防犯・防災事業 所有者や地域住民による防犯体制の構築と、火災や自然災害に備えるための防災訓練を実施する。また、防犯防火設備設置の推進に努める。 ■行政、関係団体、市民 ■R8～17
③ 館山の文化財・歴史文化遺産を活かし、発信する	○文化財・歴史文化遺産の活用のため、関係団体との連携を強化する必要がある。 ○学校教育の場で地域の歴史文化を学ぶ機会を充実させる必要がある。 等	○関係団体との連携により文化財・歴史文化遺産の展示、講座等を実施する。 ○出前講座等を活用し、学校教育の場で郷土学習の機会を増やす。 等	33 小中学生の郷土学習の充実 市職員等が講師として出向く、出前講座のメニュー増加や校外学習の支援を行うなど、教育機関と連携を図り、郷土学習を充実させる。 ■行政、教育機関 ■R8～17

(1) 原始・古代館山における 神々への祈りと祭り

鉦切洞穴や大寺山巖窟墓などの洞穴遺跡と鏡や勾玉などの土製模造品が出土する祭祀遺跡は、館山を含む安房地域独特の祭祀のあり方を伝えてくれている。また、安房神社と忌部氏の開拓神話など古代からの神々への信仰に加え、現代に受け継がれたミノコドリやかっこ舞など、神にささげる祭りも盛んにおこなわれている。里芋祭りのような全国的に類例の少ない祭りも地域に伝承されている。

(2) 館山での仏教文化の広がり

国分寺や那古寺などの古代寺院の痕跡や市内に残る仏像彫刻などから、平安時代に館山で仏教が定着していたと考えられる。また、小網寺に伝わる梵鐘や密教法具、豊房地区・九重地区に残されたやぐらなどからは鎌倉仏教の影響がうかがえる。この他、安房国札観音霊場などの巡礼に関する文化財が伝わる。



梵鐘(国指定)

(3) 里見氏10代170年の軌跡

戦国時代から江戸時代初頭まで、10代170年にわたり房総半島を支配した房総里見氏に関わる寺社や城跡、伝承などが市内各地に残されている。天文の内乱の舞台となった稲村城跡、歴代が保護し社殿の修復を行ったことが記された鶴谷八幡宮棟札、里見氏関係の古文書などから、里見氏にまつわる人間関係や争いの歴史が浮かび上がってくる。里見氏が整備した館山城の城下町が現在の館山市の礎となっている。

(4) 館山と江戸・東京との交流

海上交通の拠点として、巨大な消費地・集散地である江戸・東京との間で人とモノの行き来が活発になった。館山も商品の生産地・供給地として成長し、魚介類や米など多くの物資を五大力船や押送舟で江戸に輸送した。これらの取引を背景にした神仏への奉納物、江戸・東京へ出た房州出身者の関連資料や、館山周辺で活動した江戸職人の作品など、痕跡は数多くみられる。近代以降は汽船の就航や鉄道の開通によりさらに交流が盛んになった。

(5) 館山の海の生活文化と信仰

海に囲まれたこの地域では、原始、古代から近代に至るまで、海を通じた交流により、歴史が展開してきた。海を生活の場とした人々の漁撈用具をはじめ、漁師たちの大漁への願いが込められた万祝や絵馬、航海の安全を祈る船霊など、海に関する信仰や文化が伝わる。捕鯨や器械潜水の用具など、近代水産業の発展を示す文化財もある。



房総半島の漁撈用具(国指定)

(6) 館山の災害からの復興

館山市内の海岸周辺には、過去の地震による土地の隆起を示す段丘が残されている。また、元禄地震による津波被害や伝承、関東大震災とその後の復興によるまちづくりは現在の館山市の町並み形成につながっている。特に、地震で隆起した砂丘列上に形成されてきた集落の姿は、人々が自然地形を生かして生活してきたことを示している。



隆起地形(未指定)

(7) 軍事都市館山 首都防衛と戦争遺跡

江戸時代後期になると、異国船が東京湾にあらわれ、東京湾の入口にあたる房総半島や三浦半島に多くの砲台が築かれた。館山も海防の拠点として、諸藩による強固な沿岸防備が行われた。幕末の東京湾警備に加え、近代以降は旧陸軍の東京湾要塞、旧海軍の館山海軍航空隊や洲ノ埼海軍航空隊など、館山市は軍事都市としての性格を強くもった。市内には地下壕跡や砲台跡など多くの戦争遺跡が残されている。

(8) 別荘地・保養地・観光地としての館山

明治10年代以降、汽船の就航により東京の人々にとって館山は、身近で便利な観光地としての性格を強くしていく。また、病氣治療や健康増進を目的とした療養地・保養地としても栄え、多くの海水浴客が訪れた。さらに、東京からほど近い避暑避寒の地として、官僚や政治家、文化人などが引退後の余暇を穏やかに過ごすための別荘地としても注目され、東京との人脈が形成された。

【関連文化財群】（１）原始・古代館山における神々への祈りと祭り

■ 概要 鉤切洞穴や大寺山巖窟墓などの洞穴遺跡と鏡や勾玉などの土製模造品が出土する祭祀遺跡は、館山を含む安房地域独特の祭祀のあり方を伝えてくれている。また、安房神社と忌部氏の開拓神話など古代からの神々への信仰に加え、現代に受け継がれたミノコオドリやかっこ舞など、神にささげる祭りも盛んにおこなわれている。里芋祭りのような全国的に類例の少ない祭りも地域に伝承されている。

■ 構成文化財

文化財の名称	指定等
船越鉤切神社鰐口	市指定
祭祀用土製模造品	市指定
洲宮神社縁起	市指定
洲崎大明神縁起	市指定
船越鉤切神社奉納独木舟	市指定
狛犬・燧篋・木椀	市指定
寺赤組山車	市指定
茂名の里芋祭り	国指定
洲崎のミノコオドリ	県指定
安房やわたんまち	県指定
洲宮神社御田植神事	市指定
藤原神社獅子神楽	市指定
古茂口獅子神楽	市指定
巖島神社湯立神事	市指定
山荻神社の筒粥神事	市指定
鶴谷八幡宮の筒粥神事	市指定
柏崎の御船歌	市指定
新井の御船歌	市指定
神余日吉神社のかっこ舞	市指定
安房神社洞窟遺跡	県指定
鉤切洞穴	県指定
大寺山巖窟墓	市指定



祭祀用土製模造品（市指定）



船越鉤切神社奉納独木舟
（市指定）

■ 関連文化財群に関する課題

- ・実施されなくなった祭礼行事について実施当時の情報を記録する必要がある。
- ・祭礼行事に使用する用具等の継続的な保存修理が必要。等

■ 関連文化財群に関する方針

- ・各地域で行われている（行われていた）祭礼行事の現状調査を実施する。
- ・各地域の用具等について計画的に保存修理を進める。等

■ 関連文化財群に関する主な取組

1-1 祭礼行事の調査

各地域で行われている伝統的祭礼や生活習慣などの現状調査を行い、現在も実施されているもの、されなくなってしまったものの確認をする。

■行政、関係団体、市民 ■R8～17

1-2 祭礼行事の映像記録保存事業

実施されなくなった祭礼行事について、実施当時の関係者への聞き取りや関係資料の調査を行い、文字・映像・音声等による記録保存に取り組む。

■行政、関係団体、市民 ■R8～17

1-4 計画的な修理事業

所有者等に対し、国・県・市などの補助制度等を利用した計画的な修理事業の実施を促す。

■行政、関係団体、市民 ■R8～17